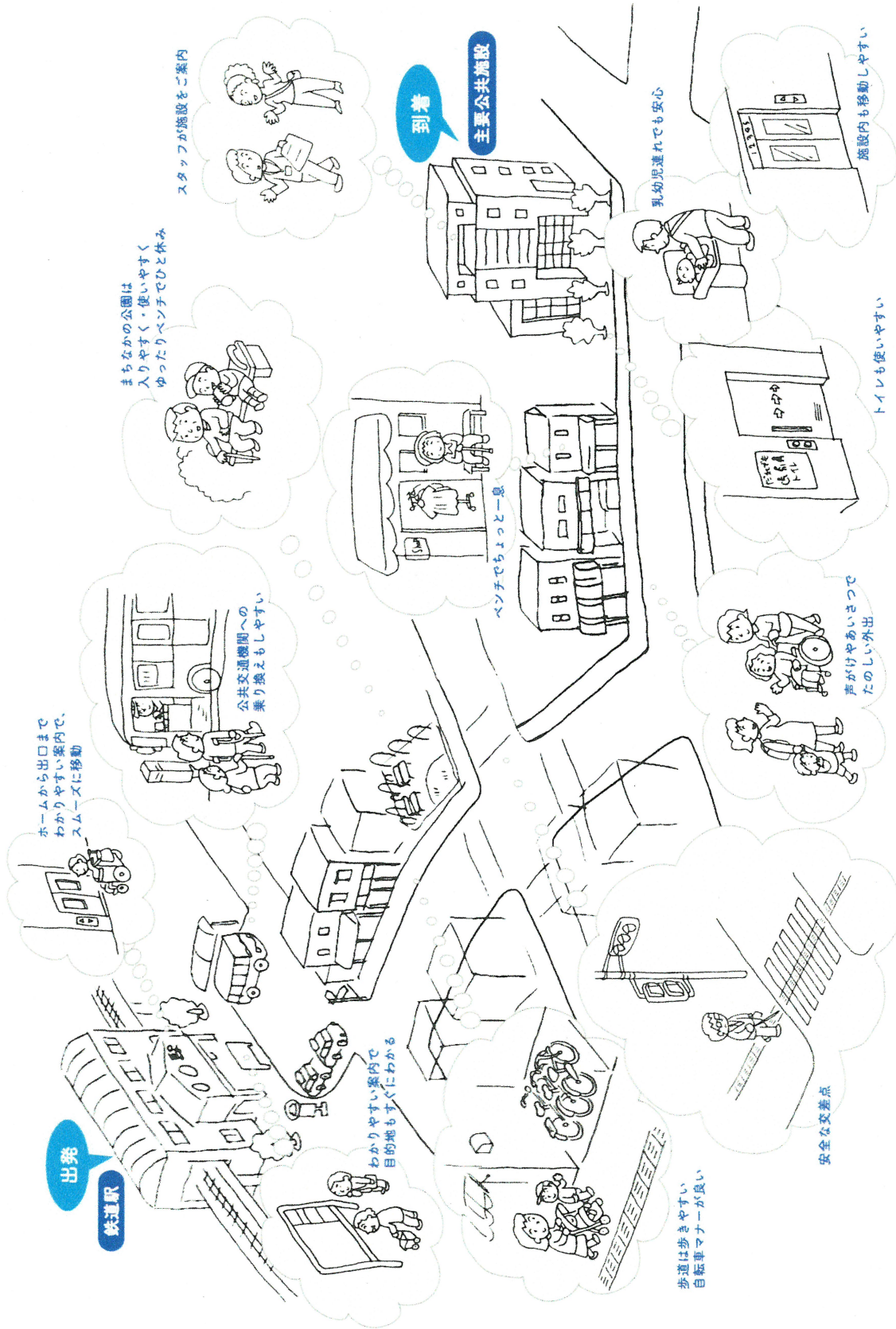


ガイドラインワークショップの実施について



作成に向けたこれまでの取り組み

①オープンワークショップ

(平成29年7月28日)

⇒区役所来庁者（115名）を対象に、移動に関するニーズの聞き取り調査



②ガイドライン検討

ワークショップ(全2回)

(第1回:平成29年8月25日)

(第2回:平成29年9月27日)

⇒経路のユニバーサルデザイン化の課題やニーズ、ガイドラインの構成を検討



①オープンワークショップ

⇒115名の方にご協力いただきました



もっとならいたい シール投票！

「もっとならいたい」シール投票！

1	案内板や地図が わかりやすい	案内板や地図が わかりやすい
2	ホームページや パンフレットが わかりやすい	ホームページや パンフレットが わかりやすい
3	まわりの人やスタッフが 親切に声をかけてくれる	まわりの人やスタッフ が親切に声をかけて くれる
4	歩道などが広く ストラスがすべり やすい	歩道などが広く ストラスがすべり やすい
5	障害のある方も 歩きやすい	障害のある方も 歩きやすい
6	安心して 歩きたい	安心して 歩きたい
7	でこぼこや 段差がない	でこぼこや 段差がない
8	暑間で快適である	暑間で快適である
9	快適に使える	快適に使える
10	公共施設を 快適に使える	公共施設を 快適に使える
11	若い世代やベテランで 使いやすいトイレがある	若い世代やベテランで 使いやすいトイレが ある
12	トイレから、途中で 休憩できる	トイレから、途中で 休憩できる

成果 ～「こうなったらいいな」シール投票の結果～

⇒日ごろ、あまりご意見を聞く機会がない元気な高齢者や子育て世代の方を中心に伺いました。

項目	75歳以上 高齢者 (21名)	65歳以上 高齢者 (20名)	子育て世代 の方 (27名)	障害者 (7名)	その他 (40名)	
わかり やすい	案内板や地図がわかりやすい	23.8%	40.0%	14.8%	57.1%	62.5%
	ホームページやパンフレットがわかりやすい	4.8%	10.0%	3.7%	28.6%	5.0%
	まちの人やスタッフが親切に声をかけてくれる	33.3%	5.0%	14.8%	42.9%	15.0%
歩き やすい	歩道などが広くストレスなくすれ違える	33.3%	30.0%	70.4%	57.1%	50.0%
	障害のある方も歩きやすい	4.8%	25.0%	3.7%	14.3%	12.5%
	安心して交差点を横断できる	19.0%	40.0%	25.9%	14.3%	17.5%
使い やすい	でこぼこや段差がない	52.4%	60.0%	55.6%	28.6%	25.0%
	できるだけ最短で移動できる	19.0%	15.0%	14.8%	0.0%	17.5%
	駅を快適に使える	4.8%	10.0%	18.5%	14.3%	22.5%
	公共施設を快適に使える	38.1%	10.0%	14.8%	28.6%	27.5%
	車いすやベビーカーで使いやすいトイレがある	9.5%	15.0%	48.1%	14.3%	22.5%
疲れたら、途中で休憩できる	57.1%	45.0%	18.5%	14.3%	25.0%	

※) 30%以上の方が回答した項目をチェックしました。

成果 ～回答から見えてきた主なヒント～

●誰にとっても「ストレスなくすれ違える」ことは、とても大切

⇒歩行空間が広いにこしたことはないが、沿道の路上駐輪、荷物のはみ出し、植栽のはみ出しなどで、狭くなる
いるケースの改善されるだけでなく、ふんよくなる

●駅前や交差点など「移動中の要所」の安全性やわかりやすさは大切

⇒サインなどが要所にあり、移動のみちしるべとしてわかりやすいことが大切

⇒横断歩道は危険を感じずに横断できることが大切

●一緒に歩く子どもの年齢や人数によって、ニーズはさまざま(主に子連れの方)

⇒ベビーカーで歩きやすいとよい、走り回る時期は子ども目線に障害物があると怖い、手をつないで歩くときに並んでも歩きやすいとよい・・・など

⇒子育て世代の方にとって、まちなみや公共施設に使いやすいついトレがあることは大切

●単なる移動空間ではなく「休憩」や「コミュニケーション」も大切(主に高齢者・障害者)

⇒商店街やまちの人が話しかけてくれたり、道端でちよつと休憩できることも大切

⇒公共施設は、単なる目的地ではなく、休憩や憩いの場として活用できることも大切

②-1 ガイドライン検討ワークショップ (第1回)

3グループで
意見交換

⇒経路のコミュニーサルデザイン化のポイントや出かけたくなるまちなみについて意見交換しました。



成果 ～経路のユニバーサルデザイン化にとって必要な機能～

視点

機能

《 主なご意見 》

<p>[情報・接遇] わかりやすい</p>	<p>見つけやすい 迷わない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前情報 ⇒ 行き先の事前情報が調べやすいことが大切 ● サイン ⇒ 公共施設は同じロゴマークなど統一性があるとよい、床貼り色分け表示など直感的なものがよい、危険な場所に誘導しないことが大切 ⇒ トイレのサインは中にある設備を知らせてくれると便利 ● 点字ブロック ⇒ 道路から建物入口へスムーズに誘導してほしい、ただし、敷設過多は迷う ● シンボル ⇒ 移動の手がかりになるシンボルがある(音、におい、シンボルツリー、等)など
<p>[歩行空間] 歩きやすい</p>	<p>動きやすい 連続している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ガードレール ⇒ 歩道の幅やすれちがいがいやすさを考慮して、ガードレールを敷設 ● 乗降場 ⇒ バスやタクシーの乗口と乗降場の段差解消、など
<p>[施設] 使いやすい</p>	<p>入りやすい 迷わない 快適である</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● バリアフリー設備 ⇒ トイレ機能の分散化、介助者も入れるトイレの広さの確保、洋式トイレの複数設置、利用しやすい障害者用駐車場の運用 ● 出入口 ⇒ 出入口の幅の確保、扉の仕様の改善(引き戸、押し戸) ● 館内移動サイン ⇒ 目的の部屋がわかる点字案内(手すりに点字、部屋番号点字)、など

成果 ～みなさんにとって「出かけたくなる」まちは～

視点

機能

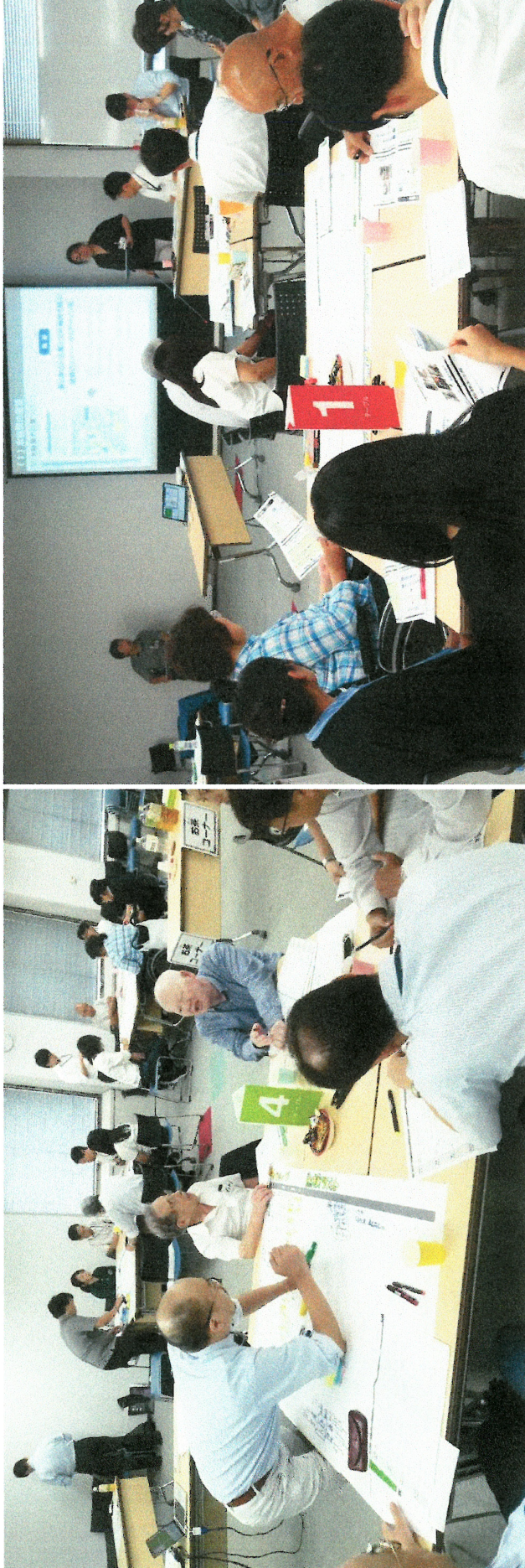
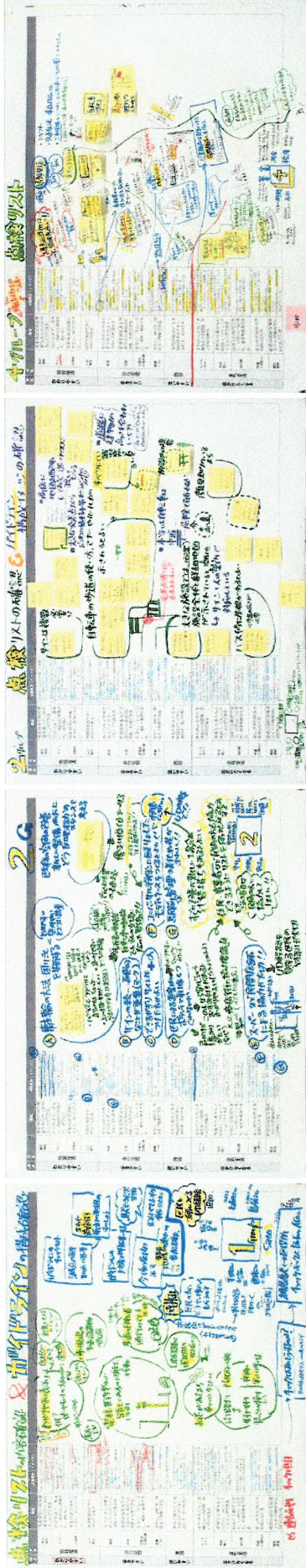
《 主なご意見 》

<p>[まち全体] 出かけ たくなる</p>	<p>●ルール・マナーが良い ⇒自転車利用のマナーがよい、だれでもトイレ・障害者用駐車場の利用マナーがよい</p> <p>●出会い・コミュニケーションがある ⇒様々な人との出会いがある、イベントがある、友人が見つかる、新しい発見がある、趣味を共有できる</p> <p>●非日常的なことがおこっても安心と感ぜられる ⇒困っている時に手伝ってくれる、声をかけてくれる</p> <p>⇒災害時、非常時に「本当に困った人」をフォローするしくみ、ルールがある、ここにいれば案内してもらえたとわかる拠点がある</p> <p>⇒天候に左右されないルートがある</p> <p>●エリア・ゾーニングが明確である ⇒自由に安心して行動できるエリアが明確にゾーニングされている(例:公園内、散策道、等)</p> <p>●歩いて楽しい(街並み・緑・景観が心地よい) ⇒行きたくないお店がある(おもてなしが温かい、清潔感がある、心地よい空間、おしゃれ、かっこいい、等) ⇒緑や自然を楽しめる ⇒健康づくりにつながる(高齢者のケガ防止)</p>
--------------------------------	--

②-2 ガイドライン検討ワークショップ(第2回)

4グループで
意見交換

⇒経路のチェックリストの内容やガイドラインの構成について意見交換しました。



②-2 ガイドライン検討ワークショップ(第2回)

4グループで
意見交換

⇒第1回の成果を踏まえて経路の点検リストのイメージを紹介

視点	対象	機能	点検項目のイメージ	
わかりやすい	事前情報	移動経路や施設概要をあらかじめ知ることができる	<input type="checkbox"/> 施設機能、出入口の位置、交通機関からの経路がパンフレットやホームページでわかりやすく示されている <input type="checkbox"/> 内容が直感的で、表現がわかりやすい <input type="checkbox"/> 駅前や交差点などの要所に、わかりやすい位置に設置されている <input type="checkbox"/> 出入口の位置や目的地に到着したことがわかる	
	情報 接遇	サイン	<input type="checkbox"/> 移動の手がかりになるわかりやすい目標物がある (例：沿道緑化、シンボルツリー、音り、音、等) <input type="checkbox"/> 駅や公共施設のスタッフがわかりやすく案内できる <input type="checkbox"/> 移動中に道案内をしてくれる場所がある <input type="checkbox"/> 声をかけてくれる	
	目的物	目標物	<input type="checkbox"/> 有効職員が確保されている (子供と手をつないで並んで歩ける) <input type="checkbox"/> 路面上に傾斜や凹凸がない、ある場合は注意喚起がある <input type="checkbox"/> 路上に障害物 (障子・設置自転車・看板) のあふれ出しがない	
	人の案内	人の案内	<input type="checkbox"/> 沿道建物・公園の出入口の有効職員が確保されている <input type="checkbox"/> 管理境界の段差が解消されている <input type="checkbox"/> 歩車道の段差が小さい、勾配が緩い <input type="checkbox"/> 待機できる一定のスペースがある <input type="checkbox"/> 死角がなく、見通しが確保されている <input type="checkbox"/> バスやタクシーに乗り降りしやすい <input type="checkbox"/> 駅から目的施設まで連続して敷設されている <input type="checkbox"/> 誘導ブロック上や周囲に障害物がない	
歩きやすい	経路	歩行の状況が異なる人同士がストレスなくすれ違える	<input type="checkbox"/> 出入口の段差が解消され、音声誘導がある <input type="checkbox"/> わかりやすい案内表示がある <input type="checkbox"/> トイレ設備が充実している (数、広さ、設備、洋式、清潔、等) <input type="checkbox"/> 子育て支援設備が充実している <input type="checkbox"/> 休憩スペースがある <input type="checkbox"/> 人的対応が充実している	
	歩行 空間	管理境界をまたがる部分も連続的に移動・利用できる	<input type="checkbox"/> 自転車の利用マナーが守られている <input type="checkbox"/> バリアフリー設備の機能や役割が理解され、マナーある使い方がされている (だれでもトイレ、駐車場、等) <input type="checkbox"/> 心地よいおもてなしや声かけなど心のバリアフリーに関わる活動がある	
	交差点 交通広場	安全に、スムーズに、横断・乗降できる	<input type="checkbox"/> ハンチ等の休憩スペースがある <input type="checkbox"/> ふらっと立ち寄りたくなる、休みたくなるスポットがある <input type="checkbox"/> さまざまな人と出会い、交流できる場所や機会が多い (イベントなど) <input type="checkbox"/> 自由に安心して行動できるエリアがある (公園内、散策道、等) <input type="checkbox"/> 雨やどりができる場所がある	
	誘導ロウ	安全に、迷わず、施設まで移動できる	<input type="checkbox"/> 行きたくなくなるお店や商店街がある (おもてなしが温かい、心地よい空間) <input type="checkbox"/> 心地よい街並みがある (おしゃれ、かっこいい) <input type="checkbox"/> 緑や自然を楽しめる <input type="checkbox"/> 定期的な点検、清掃、修繕等が行われている <input type="checkbox"/> 地域活動団体等による維持管理活動等が行われている	
使いやすい	施設	まちの拠点となる施設は入りやすく、迷わず、使いやすい	<input type="checkbox"/> ルールマナー <input type="checkbox"/> まちの人たちに多様な人への理解、思いやりがある <input type="checkbox"/> 交流・憩い <input type="checkbox"/> 多様な立場の人と出会い、コミュニケーションができる <input type="checkbox"/> 安心感 <input type="checkbox"/> 自由に行動ができて、いざというときも、安全を確保できる <input type="checkbox"/> 快適に <input type="checkbox"/> 楽しさや心地よさを感じられる	
	出かけ たくなる	ルール マナー	まちの人たちに多様な人への理解、思いやりがある	<input type="checkbox"/> ハンチ等の休憩スペースがある <input type="checkbox"/> ふらっと立ち寄りたくなる、休みたくなるスポットがある <input type="checkbox"/> さまざまな人と出会い、交流できる場所や機会が多い (イベントなど) <input type="checkbox"/> 自由に安心して行動できるエリアがある (公園内、散策道、等) <input type="checkbox"/> 雨やどりができる場所がある
		交流・憩い	多様な立場の人と出会い、コミュニケーションができる	<input type="checkbox"/> 行きたくなくなるお店や商店街がある (おもてなしが温かい、心地よい空間) <input type="checkbox"/> 心地よい街並みがある (おしゃれ、かっこいい) <input type="checkbox"/> 緑や自然を楽しめる <input type="checkbox"/> 定期的な点検、清掃、修繕等が行われている <input type="checkbox"/> 地域活動団体等による維持管理活動等が行われている
		安心感	自由に行動ができて、いざというときも、安全を確保できる	<input type="checkbox"/> 行きたくなくなるお店や商店街がある (おもてなしが温かい、心地よい空間) <input type="checkbox"/> 心地よい街並みがある (おしゃれ、かっこいい) <input type="checkbox"/> 緑や自然を楽しめる <input type="checkbox"/> 定期的な点検、清掃、修繕等が行われている <input type="checkbox"/> 地域活動団体等による維持管理活動等が行われている
維持管理	経路の良好な環境づくりが継続的に行われている	<input type="checkbox"/> 行きたくなくなるお店や商店街がある (おもてなしが温かい、心地よい空間) <input type="checkbox"/> 心地よい街並みがある (おしゃれ、かっこいい) <input type="checkbox"/> 緑や自然を楽しめる <input type="checkbox"/> 定期的な点検、清掃、修繕等が行われている <input type="checkbox"/> 地域活動団体等による維持管理活動等が行われている		

成果 ～ガイドラインのあり方について～

●取り組みの優先順位をきちんと書いた方がよい

⇒どのようは経路から優先的に始めるのかを書きしておく必要がある

⇒まずできることから始めめて「モデル」をつくり、それを展開させていく考え方が大切

●すぐに改善が難しい場合には、代替措置や工夫が示せるとよい

⇒大がかりな整備が必要など、すぐに改善が難しい場合でも、少しでもよくなるように、代替措置や改善の工夫もあわせて示せるとよい

●行政、住民、民間事業者が一緒につくろうというメッセージ性があるものに

⇒経路をよりよいものにするためには、住民や民間事業者の協力が不可欠である

⇒個人や地域、民間事業でもできることを紹介してはどうか

●ガイドラインを区民へ効果的にPRする方法を今から考えておく

⇒単にガイドラインを作っても区民には伝わらない

⇒町会・自治会や商店会へ出向いてPRするなど、積極的に協力を求めるとよい